

令和6年3月1日

保護者様

岡山県立倉敷まきび支援学校
校長 梶谷 淳子

令和5年度 学校評価アンケート 集計結果について

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、先日実施いたしました学校評価アンケートの集計結果をお知らせいたします。アンケートの回収率は、83.4%でした。多くの保護者の皆様にご協力いただき、ありがとうございました。

Ⅰ 結果

18項目の全てで「あてはまる」「ほぼあてはまる」の合計が90%を上回り、高い評価をいただきました。

ここでは特徴的なものだけ取り上げています。ホームページですべての結果を掲載しますので、そちらもご覧ください。

「指導・支援」「安全・安心」「連携」の大項目のうち、特に高い評価をいただいたものは以下の項目です。

	評価の高かったもの項目	肯定的な意見の割合
指導・支援	①個別の教育支援計画や個別の指導計画についての説明があり、指導のねらいや達成度などがよくわかる。	99.3%
安全・安心	⑩校内の美化や点検に努め、施設・設備は危険がないようにしている。	99.6%
連携	⑬保護者に連絡帳や通信で学校の様子を具体的に伝えている。	98.1%

今後も懇談や連絡帳等を通して、お子様の学習の様子を保護者の皆様と共有したり、校内の美化に努めたりして、安心して学校生活を送ることができるよう、努めていきます。

全体のうち、「あてはまる」「ほぼあてはまる」の合計の割合が他と比べてやや低く、課題につながると考えられるものは以下の項目です。

	課題につながると考えられる項目	肯定的な意見の割合
④	学部間、前籍校・園と連携し、指導・支援を行っている。	90.6%
⑯	地域の資源や人材を活用したり、地域へ貢献できる活動を進めたりしている。	92.8%
⑰	ホームページの充実や行事案内など、外部への情報発信を積極的に行っている。	93.9%

④ 引き継ぎや連携を密に行い、個に応じた指導・支援の充実を図ります。

⑯ 今年度は、新型コロナウイルス感染症の第5類移行に伴い、制限されていた学習活動も様子を見ながら再開してきました。学校運営協議会の方からも情報や協力をいただきながら、地域の方との交流や地域での学習の充実を目指します。

⑰ ホームページの更新の頻度やブログの記事の内容等について検討し、よりよいものを目指します。

2 自由記述

自由記述欄には学校や担任への感謝の言葉や、課題につながるご意見をいただきました。課題につながるような記述について、一部抜粋して以下にまとめています。

掲載しているもの以外にも貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。

写真・外部への発信に関すること

年度始めのクラス写真の撮影があるとよいと思います。

写真の掲示や販売はないのでしょうか。先生方の手間のかからないいい方法があればいいです。

Facebook の更新が、学年によって頻度が様々で、なかなか見当たらずに残念です。行事以外にも普段の生活が見られると嬉しいです。

写真の販売については、個人情報の保護の観点、教職員の業務から外れることから行っていませんが、ホームページや Facebook、学年通信について、児童生徒の学習の様子がよく伝わるような発信の仕方を検討していきます。ぜひそちらをご覧ください。

通学に関すること

高等部でスクールバスが利用できなくなるのは親にとって負担が大きい。

スクールバスは義務教育の小・中学部の児童生徒のために運行しています。一人で公共交通機関を利用することが難しい生徒の保護者の方には、ご負担をおかけしていると思いますが、ご理解とご協力をお願いします。

学校では、自力での通学や卒業後の通勤を見据えて、公共交通機関を利用した校外学習、中学部での通学体験等に系統的に取り組んでいます。ご家庭においても、できる範囲で公共交通機関を利用するなど、機会を持っていただけたらと思います。

学習内容の連絡に関すること

あまり学校での様子が連絡帳で書かれていないのでわからない事が多い。

性教育について、事前に学習内容を教えてほしい。親も心づもりができる。

毎日の連絡帳は家庭と学校とを結ぶ大切なツールですが、指導中に記入しているため詳細には書くことができない場合もあります。ご了承ください。学習の様子は、電話や懇談で詳しくお伝えするようにしています。また、家庭と連携が必要な学習内容に関しては、事前、事後に共通理解を図っていくようにします。

保護者との連携に関すること

要望を伝えてもその時だけで、長期に渡り支援してもらえない。

懇談で相談したことは、基本的にはやってくれるが、「できます。」と言ってそのままにされることがあった。

今まで以上にお子様や保護者の方の思いを懇談等でしっかり聞き取り、適切な指導・支援につなげてまいります。また、児童生徒の教育にはチームとして当たっています。お気づきのことなどありましたら、いつでも学校の方にお伝えください。

令和5年度 岡山県立倉敷まきび支援学校 学校評価アンケート 結果

A：あてはまる ・ B：ほぼあてはまる ・ C：あまりあてはまらない ・ D：あてはまらない

		評価項目	A	B	C	D
指導・支援	1	個別の教育支援計画や個別の指導計画についての説明があり、指導のねらいや達成度などがよくわかる。	99.3		0.7	
	2	教職員は特別支援教育の知識を持ち、児童生徒の教育にあたっている。	97.8		2.2	
	3	一人ひとりの実態やニーズ、心身の健康状態等を把握して指導・支援を行っている。	97.5		2.5	
	4	学部間、前籍校・園と連携し、指導・支援を行っている。	90.6		9.4	
	5	教材や教具の整備、工夫を行い、授業に生かしている。	98.6		1.4	
	6	地域、校外での学習や実習など、体験的な学習に取り組んでいる。	97.1		2.9	
	7	卒業後の生活を見据えて、系統的に学習活動を行っている。	95.3		4.7	
安全・安心	8	児童生徒の人権を尊重し、個人情報の保護に配慮している。	98.2		1.8	
	9	お互いを大切に教育を行い、いじめの未然防止や早期発見、早期解決に向けて取り組んでいる。	97.1		2.9	
	10	校内の美化や点検に努め、施設・設備は危険がないようにしている。	99.6		0.4	
	11	自然災害や事故などに対する危機管理を適切に行っている。	98.5		1.5	
	12	鉄道やスクールバスなど、通学の安全確保に取り組んでいる。	95.7		4.3	
連携	13	保護者に連絡帳や通信で学校の様子を具体的に伝えている。	98.1		1.9	
	14	保護者からの連絡や相談にチームで対応している。	95.3		4.7	
	15	必要に応じて医療・福祉・労働などの関係機関と連携したり、情報提供を行ったりしている。	94.9		5.1	
	16	地域の資源や人材を活用したり、地域へ貢献できる活動を進めたりしている。	92.8		7.2	
	17	ホームページの充実や行事案内など、外部への情報発信を積極的に行っている。	93.9		6.1	
	18	保護者と学校が協力し、過度の負担なく必要なPTA活動を行っている。	94.9		5.1	